

令和7年度新潟大学農学部学校推薦型選抜  
生物資源科学プログラム

小論文

我が国において、有機農業とは「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業」と定義されている\*。将来的には、2050年までに耕地面積に占める有機農業の取扱面積の割合を25%（100万ha）にまで拡大することが目標とされている。以上のことをふまえ、(1) 有機農業を行うことの利点、および(2) 将来的な目標達成に向けた課題とそれらの解決策について自身の考えをまとめ、600～800字以内で記述せよ。

\*有機農業の推進に関する法律（平成18年法律第112号）